



ゆめに向かう『やる気』ゆめをかなえる『本気』何度でもやり直す『根気』

輝け！口石っ子 佐々町立口石小学校 学校便り

令和4年12月23日 46号 文責 校長 岩下裕之介

2022年の結びにあたって

長い2学期も、今日が最後の登校日、2学期のゴールである終業式を迎えました。

2学期の始まりは8月26日（金）でした。始業式の私からの話で、「誰にでも得意なことと苦手なことがあります。自分が得意なことで誰かを助けたり、勇気づけたりしてください。そして、1時間1時間の授業を大切に、たくさんの『できる』を増やす2学期にしていきたいと思います。」という話をしました。（以下子どもたちに話した内容です）

9月は、大型で強い台風が接近し、給食後下校したり、1日休校になったりして、口石小学校は避難所にもなりました。急な予定の変更にもかかわらず、上級生が中心になって掃除や片付けを何度もしてくれました。



また、自分から進んで仕事をみつけて、掃除をしたり、ボランティア活動をしたりするお友達がたくさんいました。自分ができることを自分で考えて行動する「心をみがく一日一善」の姿が流石だなと思いました。



また、9月からは新型コロナウイルスの流行が少し落ち着いたので、夏休み作品展を実施したり、授業参観を実施したりしました。1年生からスタートした研究授業では、多くの先生方からも、みなさんががんばる姿をたくさん見ていただきました。勉強名人をめざして、毎日の授業をみなさんが大切にしてくれたことがとてもうれしかったです。



10月になると、5年生の野外体験学習を始め、社会科見学や生活科見学など、校外での学習を開始しました。教室だけではわからないことを、実際に見たり、お話を聞いたりして、理解を深めました。また、バスや電車の中や見学先でのマナーも学びました。どこへ行っても、どの学年も、口石っ子のマナーのよさが光っていました。

11月には、6年生が修学旅行に行くこともできました。自分たちで事前に見学地の情報を調べ、自分たちでパンフレットを作りました。どの見学地においても、その場にふさわしい態

度で学び、楽しむことができました。みんなが協力してがんばる姿を見て、とっても晴れやかな気持ちになりました。**流石は口石小学校のリーダーだと改めて感動**しました。



また、5年生の稲刈り体験、4年生の福祉体験、3年生の野菜づくり、2年生は町たんけん、1年生は昔遊び、さらに、農業体験施設での農業体験、自転車教室、メディア講演会など、**地域の皆さんにも大変お世話になりました。**

どれも、一人ではできないことばかりです。先生や友達、お家の方、地域の方に応援していただきながら、みなさんが目的やめあてを意識して活動に取組み、振り返りをしっかりと行い、次の学習に生かす、ということを丁寧に繰り返すことで、**たくさんの「できる」を増やす2学期にすることができました。**

2学期に以上のような活動ができたのは、保護者の皆様が、毎日お子さんと学校での出来事を話題に会話をし、心と体を整えて、毎朝気持ちよく学校に送り出していただいたり、地域の皆様が見守って下さったりしたお陰です。**保護者の皆様、地域の皆様のサポートに心より感謝**申し上げます。

さて、本日は、2学期の締めくくりとして、私からは、「自分のために」「家族のために」というキーワードで二つのことも伝えています。

① 自分のために

規則正しい生活に心がけて、学校に登校する時と同じ生活リズムに心がけて**家でも勉強名人をめざします。ゲームのやり過ぎにも十分注意！**

② 家族のために

師走でみんな忙しいので、いつも学校でがんばっている、**心をみがく一日一善**を、いつもお世話になっている家族のために、がんばること。

学校で鍛えた**あいさつ名人**の姿を、ご家族のみなさんや親せきの人たちにもしっかりと見せること。

本日通知表を渡しています。良かった所は大いに褒めて、もうすこしががんばったらできる所は課題を整理して励ましてあげてください。1月には**町の学力調査**があります(18日、19日)。そして、**なわとび大会**もあります。(1・3年 24日、2・5年 25日、4・6年 27日)、**楽しい冬休みを1月に向けての大切な準備期間**にしてほしいと思っています。来年もどうぞよろしくお願ひします。どうぞ良い年をお迎えください。